

平成31年(令和元年度) 大阪府立芦間高等学校 第2回学校運営協議会

日時 令和元年11月16日(土) 午後1時35分～午後5時
場所 本校1階 校長室及び体育館、視聴覚教室

構成員 <協議会委員>
笹山 幸子 元府立高等学校長
竹本 剛 P T A会長
高松 真由美 後援会会長
田中 常雄 守口市立第一中学校 校長
宮坂 政宏 週刊教育P R O 編集委員
山崎 裕也 スクール I E (学習塾) エリアマネージャー
<事務局>
東崎 浩 教頭
菊地 淳 事務長
亀井 絵里 首席 兼 総務文化部長
塩崎 靖子 首席 兼 教務主任
武田 真貴子 生徒指導主事
諸木 忠治 進路指導主事
丸山 清美 保健主事
甲斐 徹 情報部長
北野 早苗 第1学年主任
小原 浩昭 第2学年主任
角山 愉紀雄 第3学年主任
水嶋 育美 共生推進委員長
亀元 政志 校長

配付資料 ○令和元年度第1回学校運営協議会議事録
○令和元年度学校経営計画及び学校評価〔進捗状況記載〕

内 容

- (1) オープンスクール見学
- (2) 校長挨拶
- (3) 報告
令和元年度学校経営計画の進捗状況について
- (4) 保護者説明会見学
- (5) 協議

[1] 第2回オープンスクールについて

- (委員) 出迎えから生徒が主体となっていることがよくわかり以前より目立ってよかった。
- (委員) クラブ紹介は今回はビデオでの紹介だったが、以前のように直接出てきて説明のほうがよく伝わるように思う。
- (委員) 大切なことは伝わらなければ意味がないが、今回はよく伝わっていたと思う。
- (委員) 以前は学校へ入ってくる時、生徒が列を作って呼びかけをしていたがそれがなくなった。
- (委員) プログラムの中に先生の紹介があってもいいのではないかと思います。

- (委員) 私立高校は業者を使って飾りつけから全然違う。おまけもついている。それを見て志望を変える生徒もいるようだ。
- (委員) 公立には公立の良さがある。生徒が手作りでやっていることを伝えられればいい。生徒が作ったプリントは生徒目線で有効なものだと思う。
- (委員) パワポで生徒が紹介したものがまとめられたプリントを配ってもいいのではないか。
- (委員) 校歌紹介はもっと多くの生徒が出て体育館に響くくらいほしい。
- (委員) 保護者説明会では総合学科がどういうものかということがよく分かった。中学校の先生もわかっているようでよくわかっていないと思う。

[2] 令和元年度学校経営計画の進捗状況について

- (委員) 説明会に来る時点で芦間高校について調べてきている保護者が多い。保護者の認知度は上がってきているように思う。大学が定員を絞ってきているので厳しい結果になっているのはよくわかるが、この実績で進学をアピールするのは難しい。
- (委員) 英語に力を入れているということで語学研修をもっとアピールしてはどうか。
- (委員) トップ校でも関関同立・産近甲龍が減少しているが国公立は減っていない。国公立が1つの目安となる。
- (委員) 数値は中間のものである。授業満足度は生徒の期待値にもよる。生徒の期待はどこにあるかを分析してそれにこたえることができるように工夫すればいい。
- (委員) 授業の質を上げるには授業アンケートだけではなく、外部との関係も必要になる。
- (委員) クラブ活動は充実しているように思う。学校はクラブと学習のバランスが大切である。本校はバランスが取れているように思う。
- (委員) 遅刻 2000 件は全校 720 人の生徒を考えると決して多い数字ではない。×にする必要はない。
- (委員) 働き方改革については、勤務時間の縮減には会議によるところが大きい。意思決定の会議と共通理解の会議を区別して整理する必要がある。ICT を活用することも有効だと思う。
- (委員) 本来時間をかけなければいけない業務はカットできないので、本来業務でない時間をどう絞るかが大切である。かつて、教務補助というものがあったが、復活させれば改善されると思う。保護者のボランティアなどは活用できないものか。
- (事務局) 学校の扱う業務には個人情報絡むものが多いので難しいこともある。
- (委員) PTA でも何かできることはないか検討してみてもいい。1 人年 1 回協力するだけならできると思う。
- (委員) 大学入試制度が大きく変わろうとしているが、ちゃんとしていけば生徒が変わっても結果につながる。センター試験の志願者が増えているのは、意識の向上につながっているということ。

(6) 校長挨拶

○第3回は2月15日(土)午後を考えている。